

だいちょう

令和7年6月30日
岐阜市立加納幼稚園
園長 藤井 佐由美

生き物から学ぶことは実に多い！！

加納幼稚園は、頻繁に新しい命が誕生しています。今までであれば、あまりよく知らないままであった生き物の赤ちゃんも今では、マイクロスコープのおかげでその姿かたちをリアルに見つめることができます。例えば「ダンゴムシの赤ちゃん」はどうでしょう・・・これまでも何度か目撃していたダンゴムシの赤ちゃんですが、手の平にのせると、細かい砂の粒のように小さくその姿かたちは図鑑でしか確かめることができませんでした。それをマイクロスコープで見ると、こんな感じです。本当にすごいものを見たときってやっぱり、「すごい」という言葉しか出てこないですよ。当たり前ではありますが、ちゃんとダンゴムシなんです。動き方も一緒に、ちゃんと丸くなるんですよ。ところでダンゴムシがなぜこんなにも子どもに人気なのかを考えてみました。

第1に園庭や自宅などでも子どもでも容易に見つけることができ、発見の喜びを感じることができる、第2に触ると丸くなる動きが可愛らしく面白い、丸くなると動かないのに、またすぐにモジョモジョと動き出す、この静と動の動きの面白さが好奇心をくすぐる、動きに関しては交替性転向反応といって、ダンゴムシは壁にぶつかると右に曲がり、次は左に曲がるというように、左右交互に進む習性があります。その習性を生かしてダンゴムシ迷路などでその動きを観察する面白さもあります。本園の子どもたちもよくやっていますね。第3にダンゴムシは刺したり噛んだりしないので、子どもが安心して触ることができるため、親しみやすいと言えます。他にも土や落ち葉を入れて隠れ場所を作り、湿り気を与えることで、容易に飼育することができ、常に身近な存在として見つめることができることも、親しみやすい理由のように思います。ダンゴムシの背中に黄色やクリーム色っぽい斑点があるのがメスです。ダンゴムシは生まれたときには6対12本の脚をもちますが、何度か脱皮を繰り返して最終的には7対14本になります。また、ダンゴムシと同じ甲殻類であるワラジムシともよく似ていますが、ワラジムシは姿かたちがダンゴムシよりやや小さく平らで、触っても丸くはなりません。触覚の形がかなり異なり、ダンゴムシのような光沢がない

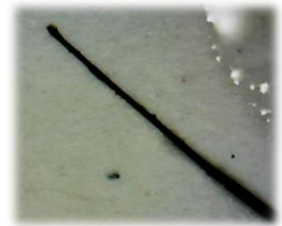


のも特徴です。動きの面ではダンゴムシに比べてかなり早いです。おしりの部分に、尾肢（びし）と呼ばれる突起した部分が2本出ており、ダンゴムシの尾肢は隠れていてみえないそうです。どうして、ワラジムシのことを取り上げたかといいますと、先日、年長児が午後の時間に「ワラジムシを探しに行ってきます。」と元気よく出かけていったからです。そうやって出かけていく子どもたちは、経験の中で、ダンゴムシとワラジムシの違いを知っているんだなと思い嬉しくなりました。

ダンゴムシに戻りますが、そんなダンゴムシの生まれたばかりの赤ちゃんをマイクロスコープという文明の利器を活用することで、さらに身近に感じ、可愛らしさが愛おしさに変化していているように思います。各学年、ひょっとしたら子どもよりも先に魅了されたであろう先生たちが自分の好きをたくさん集めて各保育室で大切に飼育しています。身近に存在する大人が夢中になると、多くの子どもが感化されてやっぱりそのものを好きになる傾向が多いですね。生き物好きの担任の子どもはやはり生き物好きになる子どもが多いように思います。もちろん、先生や保護者も初めは「子どものため・・・」とか言って飼育し始めるのですが、いつのまにか自分自身の方が生き物に夢中になっている・・・そんな光景はよくあることです。感化しているつもりが感化されてしまっているんですね。



また、清水川で捕まえてきたアメンボの赤ちゃんが生まれました。小さいことに加えてよく動くのでマイクロスコープのカメラにおさめるのが至難の業ですが、根性でおさめてくれた写真がこちらです。小さくても、成虫と同様にスイスイピョンピョン跳ねるように動く姿が可愛らしいです。しかもアメンボには畳まれた翅（はね）があり、水があるところに飛んで移動することができます。年中児が自分たちで作った池？にアメンボを解き放った時に、アメンボが飛んで子どもたちや先生たちが驚いていました。アメンボの名前の由来はその名の通り、かすかに飴のようないい匂いがすることから「飴ん坊」と呼ばれるようになったそうです。ところがアメンボはカメムシの仲間だということですから面白いんですね。しかも、どうして水に浮くのか不思議ですよ。アメンボは体が軽いという特徴もありますが、アメンボの脚には細かい毛が密集しており、この毛が水をはじくらしいです。それは、足の先から油っぽいロウ状の成分が分泌され、水をはじいて浮力を維持しているそうです。また、6本の脚のうち前脚の2本が短く、後ろの4本が長いのが特徴で、真ん中の2本はかなり長くなっており、この2本の脚をオールのように使い、後ろの2本を舵のように使って方向を定めスイスイ進むようになっているそうです。



次にヤゴについてです。年長児と一緒に清水川に出かけたとき、なかなか魚を捕まえることは難しかったのですが、担任が「何か変なのが捕れた！」と言って持ち帰ったのが、これでした。図鑑で調べてみると、どうやら「イトトンボ系のヤゴ」のようでした。これまで、「トンボのヤゴ」は成虫まで何度か飼育したことがありましたが、イトトンボのヤゴは初めてで、捕まえたときには、私も「何か変な奴だな・・・」と思ったのです。正体が分かったと、どうしてか愛着がわき、ずっと見守ってきまし





た。それが、ついに羽化のときを迎えました。朝、子どもたちが立てかけて置いた木につかまり、羽化しようとしている状況でした。その翌日の朝、この姿がなく、死んでしまったのかと思った矢先、子どもが気づきました。「こんなところにトンボがいる～」と。見ると机の下に羽化したハグロトンボがとまっていました。そして、机の横には、抜け殻がくっついていました。これも初め



はもう1頭が羽化しようとしているのかと思いましたが、よく見ると抜け殻であることが分かりました。そして次々に登園してくる子どもたちが寄ってくると翅が乾いたのか、天井に向かって上へと飛んでいきました。

さらに、別の日には、ヌマエビの赤ちゃんが生まれました。1回目の清水川への生き物採集の際にも「ヌマエビ」を捕まえてきたのですが、酸素が足りなかったからか、翌日には死んでしまいました。その中の1つがお腹に卵を持っていたのです。残念なことではありましたが、こちらでもマイクロスコープで卵を観察してみました。この様子がこちらです。こうしてみるとキャビアみたいですね。



そして、2回目の清水川生き物採集の際にも、また「ヌマエビ」を捕まえることに成功しました。その中の一つが、再びお腹に卵を持っていたのです。なんとその卵から赤ちゃんが生まれました。こちらは小さいなりに肉眼でもしっかり「ヌマエビ」であることが確認できます。幼稚園のホールに飼育されていますので、ぜひご覧ください。



一方、飼育していると命の終わりに対峙することもあります。そのときこそ、命について考える機会です。子どもたちの発達に合わせて、それぞれ考え、考えたことを伝え合い、行動する機会にしています。このように、加納幼稚園では「命」を身近に感じ、見たり、触れたり、考えたりしながら大切なときを過ごしています。

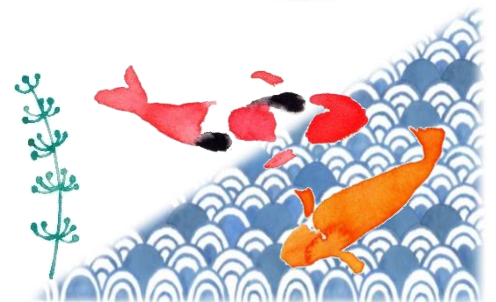
《7月の保育について》

【3歳児】

- 先生や友達と一緒に思いきり水の感触を楽しむ。
- 先生や友達に自分なりの表現で思いを伝えようとする。

【4歳児】

- 友達に自分の思いを言葉や身振りで伝えて遊ぶ。



○友達や先生と一緒に水の感触を体全体で楽しんだり、生き物との関わりを通して、自分なりに考えたり活動に参加したりする。

【5歳児】

○自分の思いや考えを伝えながら、友達の思いも知ろうとする。

○自分なりの目標をもち、工夫したり、試したりして遊びを進めることを楽しむ。

お知らせ・お願い

毎週、通信を配信しております。お知らせやお願いなどがたくさんありますので、スマート連絡帳やホームページ等で確認していただきますようお願いいたします。

☆保育参加やプール見守りボランティアなど、快くご参加・ご協力くださいませありがとうございます。これから保育参加をされる保護者の方、どうぞよろしくお願いいたします。

☆7月12日(土)には、いよいよ、ソニー幼児教育支援プログラム「科学する心を育てる」保育実践論文 最優秀園受賞 実践発表会が開催されます。本園の自慢の子どもたちの姿を日頃と変わりなく参観していただきたいと思います。そのため、土曜日ではありますが、欠席のないようご協力いただけるとありがたいです。

なお、決まった曜日で登園してくださっているお子さんは、今回は、行事の取り扱いではありませんので、月曜日(振替休業日)の登園のお子さんの登園日となることをご了承ください。よろしくお願いいたします。

また、9時を過ぎますと、来賓の車が保護者と同じ入口から出入りします。

登園時刻(⑤8:40登園完了、④8:50登園完了、③9:00登園完了)を守ってお越しくくださいますようご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。いつもより10分早いです。また、お子さんを送られたら、速やかに車を出してください。

迎える時間は③④11:05降園完了、⑤11:10降園完了となります。その後の預かり保育はありませんので、時間を守ってお迎えにお越しくください。

※ハンドベル参加のお子さんはそのまま「ちゅうりっぷ組保育室」でお預かりします。ハンドベル終了後、速やかにお迎えをお願いします。ソニー実践発表会第Ⅱ部に参加の方のお子さんは、申し込みされた方のみ「ちいさなおうち」でお預かりします。

☆7月15日(火)は、夏祭り前日祭です。年長児が企画して創り上げたコーナーを体験していただくことができます。全園児の保護者が対象ですので、ぜひお越しください。

☆7月3日(木)に、2歳児限定『体験入園会(なつまつり)』を開催いたします。チラシを配布させていただきましたので、近隣の2歳児(令和7年度年少児)の方にお渡し下されると幸いです。また、在園児の弟妹で対象のお子さんは、ぜひご参加ください。心よりお待ちしております。